

## 平成 27 年度 第 231 回教育研究審議会議事要録

**日 時** 平成 27 年 7 月 28 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 50  
**場 所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、田島入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、後藤評価室副室長

**配布資料**

- 1-1 教員採用選考報告書 (法学部)
- 1-2 教員採用選考報告書 (国際環境工学部)
- 1-3 教員採用選考報告書 (環境技術研究所)
- 1-4 欠員補充申請書 (マネジメント研究科)
- 1-5 欠員補充申請書 (マネジメント研究科)
- 1-6 退職願 (国際環境工学部)
- 2 第3期中期計画策定の取組みについて
- 3-1 2014 年度 早期支援システム実施結果 (北方キャンパス)
- 3-2 2014 年度 早期支援システム (退学勧告制度) 実施報告の概要  
【ひびきのキャンパス・国際環境工学部】
- 4 北九州まなびと ESD ステーションについて
- 5 「NPO 法人国際交流・フォーラムこくら南」の設立について
- 6 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

### 第 1 号 教員の採用について

\* 資料1-1のとおり、法学部の刑法担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (土井和重氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

\* 資料1-2のとおり、国際環境工学部の環境プロセス分野 (大気) 担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (藍川昌秀氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

\* 資料1-3のとおり、環境技術研究所のロボットに関連する電子情報通信分野担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (松田鶴夫氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

● 業績評価書に、平成21年4月から現在まで、候補者が本学の非常勤講師として勤務しているとの記載がある。教員資格選考調書の教歴欄に追記してはどうか。また、教育研究業績書の論文のうち、ページ数の記載がないものがあるので、確認のうえ追記してもらいたい。

○ そのように対応したい。

● 教員資格選考調書に、学会報告が135件との記載がある。これは、教育研究業績書にある学会報告の125件と査読なし学術誌等の10件を合計した件数と考えて良いか。

○ ご指摘のとおりである。

【議長】一部資料修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料1-4のとおり、マネジメント研究科からの申請に基づき、平成28年3月31日付けで定年退職する越出均教授の後任として、経営学担当教員1名の欠員補充について提案。

- 経済学部を提供する科目は経済学部と協議済みとあるが、前任者が担当している科目（情報マネジメントA及びB）については、どのように対応する予定か。
- 当該科目については非常勤講師での対応も含め検討していくこととしている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料1-5のとおり、マネジメント研究科からの申請に基づき、平成28年3月31日付けで定年退職する永津美裕教授の後任として、パブリック・マネジメント担当教員1名の欠員補充について提案。

- 本欠員補充については、行政運営実務に精通した実務家教員の採用を予定している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料1-6のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、董青講師の平成27年9月30日付けでの退職について提案。

- 2学期の授業科目等はどのように対応する予定か。
- 後任人事は、平成28年4月採用を予定しており、それまで、担当科目やゼミは、専門分野の近い教員が担当する予定である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第2号 第3期中期計画策定の取組みについて

\* 資料2のとおり、第3期中期計画策定の取組みについて提案。

- 第3期中期計画（平成29年度から34年度まで）を策定するため、第3期中期計画策定委員会を設置するもの。また、本委員会のもとに、「部局検討部会」、「管理運営部会」、「教育組織再編検討部会」を置く。
- 部局検討部会は、関係組織が多岐にわたることから、各部局単位で原案作成チームを編成し、原案を作成するもの。
- 部局検討部会のうち、ひびきのキャンパス（国際環境工学部・研究科、環境技術研究所）は、固有の課題が多いことから、ひびきのキャンパスWG（リーダー 梶原副学長）を置く。また、これまで、法人評価、認証評価における自己点検評価において懸案となっている事項についても集中的に検討を行うため、入試広報検討WG（リーダー 柳井副学長）、大学院検討WG（リーダー 松尾副学長）を設置する。
- 各部局長及び各WGリーダーは、原案作成チーム等の構成名簿を作成し、平成27年8月27日（木）までに経営企画課に提出してもらいたい。
- 今後のスケジュールとしては、平成27年9月1日（火）の教育研究審議会終了後に部会連絡会議を開

催、第3期中期計画の作成方針、原案作成の際の留意事項等の説明を行う。その後、各部会等における検討を進め、平成27年10月30日（金）までに第1次原案を経営企画課に提出してもらいたい。

- 入試広報検討WGでは、入試広報に加え、大学広報についても検討すべきか。また、広報アドバイザーや入試情報関連企業の専門家等、外部人材の活用は可能か。
- 検討事項は入試広報がメインとなるが、大学広報を含めた広報全般を考える必要がある。必要に応じて、管理運営部会とも連携して調整してもらいたい。外部人材の活用については、WGメンバーもしくはオブザーバーとしての参画などが考えられるが、必要に応じ各WG等で関わり方について判断していただきたい。
- 大学院検討WGにおいて、大学院の定員充足の改善について検討することとなっているが、大学院の入試広報に関しても検討して良いか。
- 必要に応じて、入試広報検討WGとも情報交換を行い、連携してもらいたい。最終的には、第3期中期計画策定委員会できりまとめることとなる。
- 基盤教育センターひびきの分室については、基盤教育センターとひびきのキャンパスWGのどちらで検討するのか。
- 課題にもよるため、基盤教育センターとひびきのキャンパスWGの間で調整してもらいたい。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 （異議なし）

## 報告

- ① 平成26年度早期支援システム実施報告について、資料3のとおり報告があった。
- ② 北九州まなびとESDステーションの取組実績等について、資料4のとおり報告があった。
- ③ NPO法人国際交流・フォーラムこくら南について、資料5のとおり報告があった。
- ④ 教員の海外出張について、資料6のとおり報告があった。
- ⑤ 次回の審議会を9月1日（火）に開催する予定である旨、報告があった。